

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
単元株式数	1,000株
剰余金配当基準日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 Tel 0120-232-7111(通話料無料)
証券コード	3105
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nisshinbo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によること ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する 住所変更等 の照会および お届出について

株式に関する手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、いずれかの窓口にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主様】

……当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主様】

……三菱UFJ信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三菱UFJ信託銀行に開設された特別口座に記録されております。特別口座の詳細につきましては、左記の三菱UFJ信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。各種届出用紙のご請求は下記のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

Tel 0120-244-479(通話料無料)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株主優待のご案内

当社の株主優待は、「緑の募金*」への寄付または当社グループの紙製品ギフトセットのどちらかを選択いただける内容となっております。

詳細につきましては、ご優待対象の株主様へ同封いたしました株主優待申込みはがきをご覧ください。

■ 株主優待の内容

次のいずれか1つを選択いただけます。

1 株主様からのお申込み分 1件あたり3,000円を当社が「緑の募金」へ寄付

2 当社グループ紙製品
特製ギフトセット(3,000円相当)



■ ご優待対象の株主様

2010年3月31日現在で、1,000株以上保有する国内在住の個人株主の方。

■ ご優待のお申込み方法

ご優待対象の株主様には、株主優待申込みはがきを同封しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。なお、お申込みの締切りは2010年7月31日となっておりますので、ご注意ください。

※(財)国土緑化推進機構が推進する「緑の募金」は、以前は「緑の羽根募金」として親しまれていた、地球規模での緑の保全のための募金活動です。

2009年度は、株主様からのお申込み分に、当社と当社グループの従業員からの寄付分を加えた総額100万円を(財)国土緑化推進機構に寄付いたしました。

第167期

株主通信

2009年4月1日 ⇨ 2010年3月31日

NISSHINBO

NISSHINBO

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
TEL : 03-5695-8833(代) FAX : 03-5695-8970
<http://www.nisshinbo.co.jp/>



日清紡ホールディングス株式会社



日清紡グループは、 社会の劇的な変化に対応し、 新たなる飛躍を目指します。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社グループは、2010年度から2012年度までを実行期間とする経営3カ年計画「Challenge 2012」を新たに策定いたしました。「環境ビジネスの拡大」と「グローバル展開の強化」を軸として、企業の社会的責任を果たしつつ、持続的な成長を図ってまいります。

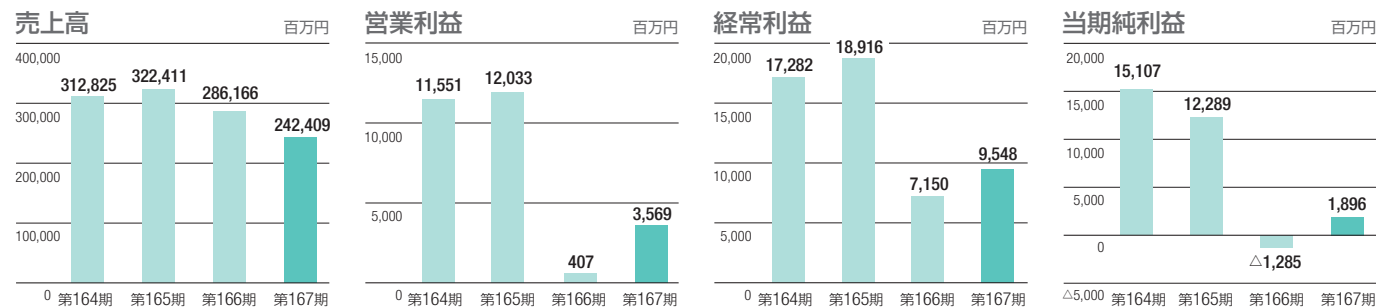
株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長



(うぎわ しずか)

連結決算ハイライト



当期業績について

当期における経済環境は、各国の大規模な経済対策の効果や中国を中心とする新興国に牽引されて回復基調にあるものの、米国の雇用問題や欧州・中東における金融不安の再燃など先行きの不透明感は依然として残っており、未だ自律的な景気回復には至っておりません。

こうした中で当社グループは、環境・エネルギー分野の事業拡大を経営の柱として、各事業会社の個別事業の競争力を高めグループ全体の企業価値の向上を図るとともに、収益力の強化を推進してまいりました。

その結果、太陽電池メーカーの設備投資縮小による太陽電池製造装置の受注減少や、繊維事業、エレクトロニクス製品事業の不振はあったものの、紙製品事業や不動産事業が好調だったことやブレーキ製品事業の利益率が改善したことなどにより、減収ながらも増益となりました。

以上により、当連結会計年度の連結業績は、売上高242,409百万円(前期比15.3%減)、営業利益3,569百万円(前期比775.3%増)、経常利益9,548百万円(前期比33.5%増)、当期純利益1,896百万円(前期比3,181百万円の改善)となりました。

今後の展望と課題

現在、長引く世界同時不況による需給失調で厳しい経営環境が続いておりますが、当社グループは、「2017年度までにROE9%超 売上高6,000億円超」の長期業績目標を掲げ、その達成に全力を尽くしてまいります。

環境・エネルギーの事業領域に経営資源を集中的に投下

し、太陽電池・燃料電池・電気二重層キャパシタ・カルボジライト・カーボン触媒といった新規事業を育成・強化することで、将来の競争力基盤を構築いたします。

また、アジアを中心に据えた事業のグローバル展開を加速させ、さらに大胆に事業の選択と集中を進めてまいります。繊維事業における海外生産拠点の拡充をはじめ、全ての事業領域において、国内にこだわることなく、適地生産・適地販売を考慮したグローバルな事業戦略を実行いたします。

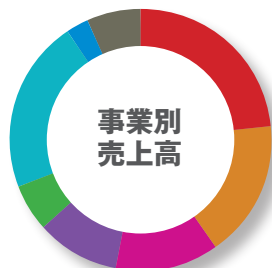
人間社会が存続するためには社会構造や価値観等において非連続の大転換が必然となり、ビジネスにおいても非連続の経営が求められています。当社グループは、連続性にこだわらない事業領域への進出や事業拠点の設立も視野に入れ、変化対応企業として新たなる飛躍を目指してまいります。

期末配当について

当社グループは、安定した配当の確保が株主の皆様への責務と考え、取締役会の決議により年間15円の普通配当を基本とし、収益の向上に応じて増配などの利益還元を行うことを方針としております。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり7円50銭とさせていただきます。これによって中間配当金を合わせた当期の年間配当額は、1株当たり15円となりました。

また、株主の皆様への利益還元策の一環として、取締役会決議に基づき、当期は自己株式553万株を取得いたしました。さらに、本年4月には530万株の自己株式の消却を実施しております。



売上高構成比率

■ 繊維	23.4%	■ 化学品	5.8%
■ ブレーキ製品	16.9%	■ エレクトロニクス製品	21.3%
■ 紙製品	13.0%	■ 不動産	2.8%
■ 精密機器	10.3%	■ その他	6.5%

事業別売上高はセグメント間の内部取引分を含んでおりません。
営業利益または営業損失は内部取引分を含んでおります。

繊維

売上高	56,755 百万円
前期比	16.0%減
営業損失	2,130 百万円
前期比	612百万円改善

綿・化繊糸および布、不織布、スパンデックス製品など

繊維事業は、消費者の低価格志向の強まりなどから、シャツ地は綿100%ノーアイロンシャツ「アポロコット」が好調だったものの国内販売や米国・中東向け輸出が減少し、デニム地の販売も低迷したことなどから、前期比で減収となりましたが、経費削減などにより損失は縮小しました。



アポロコット

ブレーキ製品

売上高	41,045 百万円
前期比	16.6%減
営業利益	3,879 百万円
前期比	11.9%増

摩擦材、ブレーキアセンブリなど

ブレーキ製品事業は、国内自動車販売はエコカー減税や補助金の効果などにより持ち直したものの、海外自動車販売の低迷から輸出が減少し、国内・海外の自動車生産が減少した影響を受けましたが、人員の最適配置や米国子会社の再編などから利益率が改善したため、前期比で減収ながらも増益となりました。



摩擦材

紙製品

売上高	31,535 百万円
前期比	7.8%減
営業利益	1,706 百万円
前期比	118.6%増

家庭紙、洋紙、成型加工製品、パッケージ製品など

紙製品事業は、洋紙のファインペーパーやラベル関連製品は低調に推移しましたが、家庭紙が、消費者の低価格志向などから販売価格が下落し減収となったものの、原料・燃料費や減価償却費などの生産コストが低下したことから大幅な増益となり、前期比で減収ながらも増益となりました。



家庭紙

ファインペーパー

精密機器

売上高	24,907 百万円
前期比	30.0%減
営業損失	535 百万円
前期比	2,382百万円悪化

太陽電池製造装置、精密加工部品、プラスチック成形品など

精密機器事業は、主力の太陽電池製造装置が、太陽電池メーカーの設備投資が縮小したため、大幅な減収・減益となりました。また、自動車向け精密部品加工は好調だったものの、専用工作機械やプラスチック成形加工品は低調だったため、前期比で大幅な減収となり、損失計上を余儀なくされました。



太陽電池製造装置

化学品

売上高	14,057 百万円
前期比	11.0%減
営業損失	375 百万円
前期比	1,525百万円改善

ウレタン、カーボン製品、高機能化学品など

化学品事業は、売上が減少したものの、不採算分野からの撤退や生産の合理化など事業再構築を行ったことに加え、環境関連製品である燃料電池セパレータの販売増、高機能性樹脂素材「カルボジライト」や電気二重層キャパシタの収益改善などにより、前期比で減収ながらも損失は縮小しました。



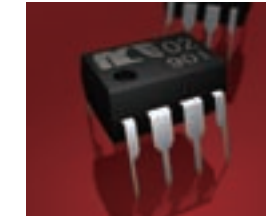
燃料電池セパレータ

エレクトロニクス製品

売上高	51,699 百万円
前期比	14.6%減
営業損失	2,654 百万円
前期比	1,264百万円改善

半導体、電子部品、電子機器、無線機器など

エレクトロニクス製品事業は、中国の携帯電話機向けマイクロ波デバイスが好調だったものの、その他半導体製品の売上が大きく減少し、マイクロ波管・周辺機器、マイクロ波応用製品も減収となりましたが、人件費等の経費抑制を行ったため利益は改善し、前期比で減収ながらも損失は縮小しました。



半導体製品

不動産

売上高	6,673 百万円
前期比	3.7%増
営業利益	6,136 百万円
前期比	83.7%増

宅地分譲、土地・建物の賃貸など

不動産事業は、旧浜松工場跡地の再開発により宅地分譲を開始したことや、賃貸先である大規模商業施設の店舗拡大により土地賃貸収入が増加したほか、分社化に伴い新たに子会社への土地・建物賃貸を開始したことなどにより、前期比で増収・増益となりました。



宅地分譲地

経営
3カ年計画

「Challenge 2012」

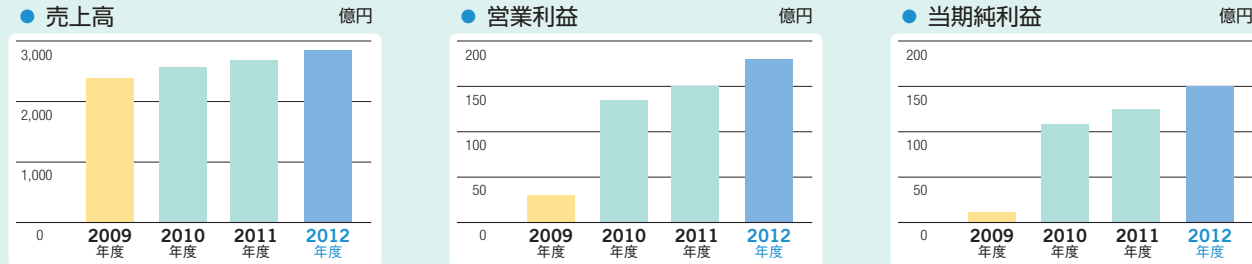
当社グループは、2010年度から2012年度までを実行期間とする経営3カ年計画「Challenge 2012」を策定いたしました。計画の実行により、経営環境の変化に的確に対応するとともに、飛躍的発展を遂げるための事業基盤を構築していきます。

売上・利益計画

2012年度の連結業績目標

	売上高	営業利益	当期純利益
2012年度目標	2,850	180	150
2009年度実績	2,424	35	18

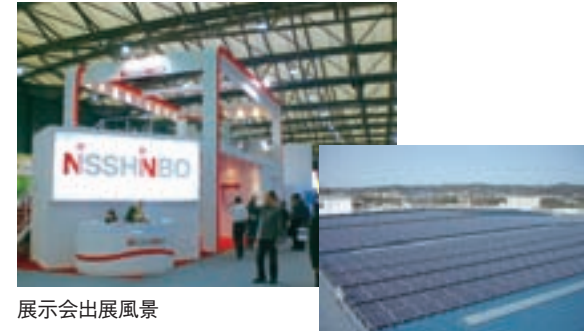
連結業績目標の推移



事業グループ計画

事業グループ	売上高				営業利益			
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
繊維	567	580	615	645	Δ 21	Δ 2	9	14
ブレーキ製品	410	405	435	460	38	42	48	54
紙製品	315	335	355	360	17	13	16	18
精密機器	249	280	310	335	Δ 5	8	14	19
化学品	140	145	160	175	Δ 3	Δ 2	1	6
エレクトロニクス製品	516	545	570	640	Δ 26	6	12	17
不動産	66	125	90	90	61	104	75	76
その他・全社	157	145	145	145	Δ 24	Δ 34	Δ 25	Δ 24
事業グループ連結	2,424	2,560	2,680	2,850	35	135	150	180

太陽電池製造装置 上海・太陽光発電展示会に出展



展示会出展風景

美合工機事業所に
太陽光パネルを設置

当社グループで精密機器事業の中核を担う日清紡メカトロニクス(株)は、2010年5月5日～5月7日、上海新国際博覧センターにて開催された中国最大の太陽光発電の展示会「第4回(2010)国際太陽能光伏大会(上海)展示会」に太陽電池製造装置の新製品を出展しました。

太陽電池製造が急拡大する中国市場向けとして、新たに日本で開発・設計し中国の合弁企業で製造する太陽電池製造装置や、太陽電池の新材料、検査システムを出展し、3日間の会期中で同社ブースに約600社の来場がありました。

当社グループは、アジアを中心に太陽電池製造装置事業をグローバル展開していますが、中国での本格的なビジネス展開に向けて好調な滑り出しとなりました。

プロテニスプレーヤー 江原弘泰選手と所属契約締結

江原弘泰選手は、5歳からテニスを始め、ジュニア時代に全日本ジュニアテニス選手権2009優勝、世界スーパージュニア2009準優勝、全英オープン・ジュニア2009ベスト16など数々の輝かしい戦績を残し、昨年12月にプロへ転向。ケガにも負けない強靱な精神力とクレイコートでも活躍できる粘り強いプレースタイルで、今後世界への飛躍を期待される大型新人です。

この度、当社グループは世界を目指す江原選手の姿勢に感銘し、江原選手も当社グループの企業姿勢に共感し、今回の所属契約が実現しました。若さと将来への大きな可能性を備える江原選手とともに、当社グループも大きく成長・発展していきたいと考えています。



日清紡グループは、男子プロテニスプレーヤー江原弘泰選手を応援しています。

爽やかさとガッツ溢れるプレーで世界を目指す江原弘泰選手

江原 弘泰(えはら ひろやす)プロフィール

生年月日	1991年7月18日
出身地	埼玉県行田市
プロ転向	2009年12月
ジュニア時代の主な戦績(2009年)	全日本ジュニアテニス選手権18歳以下男子シングルス・ダブルス 優勝、世界スーパージュニア大会男子シングルス・ダブルス 準優勝、全英オープン・ジュニアベスト16、全米オープン・ジュニアベスト32

連結貸借対照表

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 2010/3/31現在	科目	当期 2010/3/31現在
資産の部		負債の部	
流動資産	130,606	流動負債	94,367
現金及び預金	20,181	支払手形及び買掛金	25,562
受取手形及び売掛金	60,204	短期借入金	24,339
有価証券	2	一年内返済予定の長期借入金	2,262
商品及び製品	17,968	リース債務	68
仕掛品	14,274	コマーシャル・ペーパー	22,000
原材料及び貯蔵品	8,784	未払法人税等	3,137
繰延税金資産	3,982	役員賞与引当金	68
その他	5,509	返品調整引当金	175
貸倒引当金	△ 300	その他	16,752
固定資産	227,503	固定負債	70,104
有形固定資産	114,725	長期借入金	14,226
建物及び構築物	50,453	リース債務	197
機械装置及び運搬具	31,806	繰延税金負債	15,914
土地	27,643	退職給付引当金	20,717
リース資産	260	役員退職引当金	153
建設仮勘定	1,549	環境対策引当金	179
その他	3,012	負ののれん	1,316
無形固定資産	4,435	長期預り金	14,847
のれん	616	その他	2,551
その他	3,819	負債合計	164,471
投資その他の資産	108,341	純資産の部	
投資有価証券	98,925	株主資本	171,519
長期貸付金	116	資本金	27,587
繰延税金資産	4,595	資本剰余金	20,400
前払年金費用	2,152	利益剰余金	129,583
その他	2,896	自己株式	△ 6,052
貸倒引当金	△ 345	評価・換算差額等	11,471
資産合計	358,109	その他有価証券評価差額金	17,091
		繰延ヘッジ損益	△ 82
		為替換算調整勘定	△ 5,538
		新株予約権	155
		少数株主持分	10,491
		純資産合計	193,638
		負債及び純資産合計	358,109

連結損益計算書

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 2009/4/1~2010/3/31
売上高	242,409
売上原価	201,625
売上総利益	40,783
販売費及び一般管理費	37,214
営業利益	3,569
営業外収益	7,578
受取利息及び配当金	2,143
負ののれん償却額	568
持分法による投資利益	3,886
雑収入	978
営業外費用	1,598
支払利息	815
雑損失	783
経常利益	9,548
特別利益	1,637
固定資産売却益	109
投資有価証券売却益	551
確定拠出年金移行差益	975
特別損失	5,850
固定資産売却廃棄損	732
減損損失	2,354
投資有価証券売却損	9
投資有価証券評価損	557
ゴルフ会員権評価損	0
特別退職金	797
事業整理損	435
厚生年金基金脱退拠出金	470
環境対策引当金繰入額	179
環境対策費	21
海外訴訟関連損失	174
過年度社会保険料	117
税金等調整前当期純利益	5,335
法人税、住民税及び事業税	3,621
法人税等還付税額	△ 383
法人税等調整額	4,041
少数株主損失	3,840
当期純利益	1,896

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 2009/4/1~2010/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,949
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 11,458
現金及び現金同等物の期首残高	29,202
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	24
現金及び現金同等物の期末残高	17,768

連結株主資本等変動計算書

(2009/4/1~2010/3/31)

単位:百万円(未満切捨)

科目	株主資本					評価・換算差額等				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
2009年3月31日残高	27,587	20,400	130,520	△1,018	177,491	10,555	△41	△8,167	2,346	107	13,753	193,698
当連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△2,755		△2,755							△2,755
当期純利益			1,896		1,896							1,896
自己株式の取得				△5,037	△5,037							△5,037
持分法適用会社の増加による自己株式の増加				△4	△4							△4
持分法適用会社に対する持分増加による自己株式の増加				△0	△0							△0
自己株式の処分			△1	6	5							5
連結範囲の変動			△67		△67							△67
従業員奨励及び福利基金(注)			△9		△9							△9
株主資本以外の項目の当連結会計年度中の変動額(純額)						6,536	△40	2,629	9,125	48	△3,262	5,911
当連結会計年度中の変動額合計			△937	△5,034	△5,971	6,536	△40	2,629	9,125	48	△3,262	△60
2010年3月31日残高	27,587	20,400	129,583	△6,052	171,519	17,091	△82	△5,538	11,471	155	10,491	193,638

(注)従業員奨励及び福利基金は、中華人民共和国所在の子会社が当該国の法令に基づいて設定したものです。

II 会社概要

会社名 日清紡ホールディングス株式会社
英文社名 Nisshinbo Holdings Inc.
設立 1907(明治40)年2月5日
資本金 27,587,976,204円
従業員数 230名(当社グループ連結12,488名)
本社 〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
当社グループの主要な拠点 大阪支社(大阪府)、名古屋支店(愛知県)
 島田事業所、藤枝事業所、浜北精機事業所、富士事業所(静岡県)、美合事業所、美合工機事業所、豊田事業所(愛知県)、徳島事業所(徳島県)、館林事業所(群馬県)、旭事業所、千葉事業所(千葉県)
 中央研究所(千葉県)

II 取締役・執行役員 (2010年6月29日現在)

取締役会長	岩下 俊士	取締役役員	中野 裕嗣
取締役社長 *1	鷗澤 静	執行役員	萩原 伸幸
取締役専務執行役員	竹内 伸二	取締役*2	秋山 智史
取締役専務執行役員 *1	恩田 義人	取締役*2	花輪 俊哉
取締役常務執行役員	五十部 雅昭	取締役*2	加藤 紘二
取締役常務執行役員	河田 正也	執行役員	木島 利裕
取締役執行役員	村上 雅洋	執行役員	馬場 一訓

*1は代表取締役 *2は社外取締役

II 監査役 (2010年6月29日現在)

常勤監査役	井出 義男	監査役*	川上 洋
常勤監査役	佐塚 政男	監査役*	富田 俊彦

*は社外監査役

II 株式状況

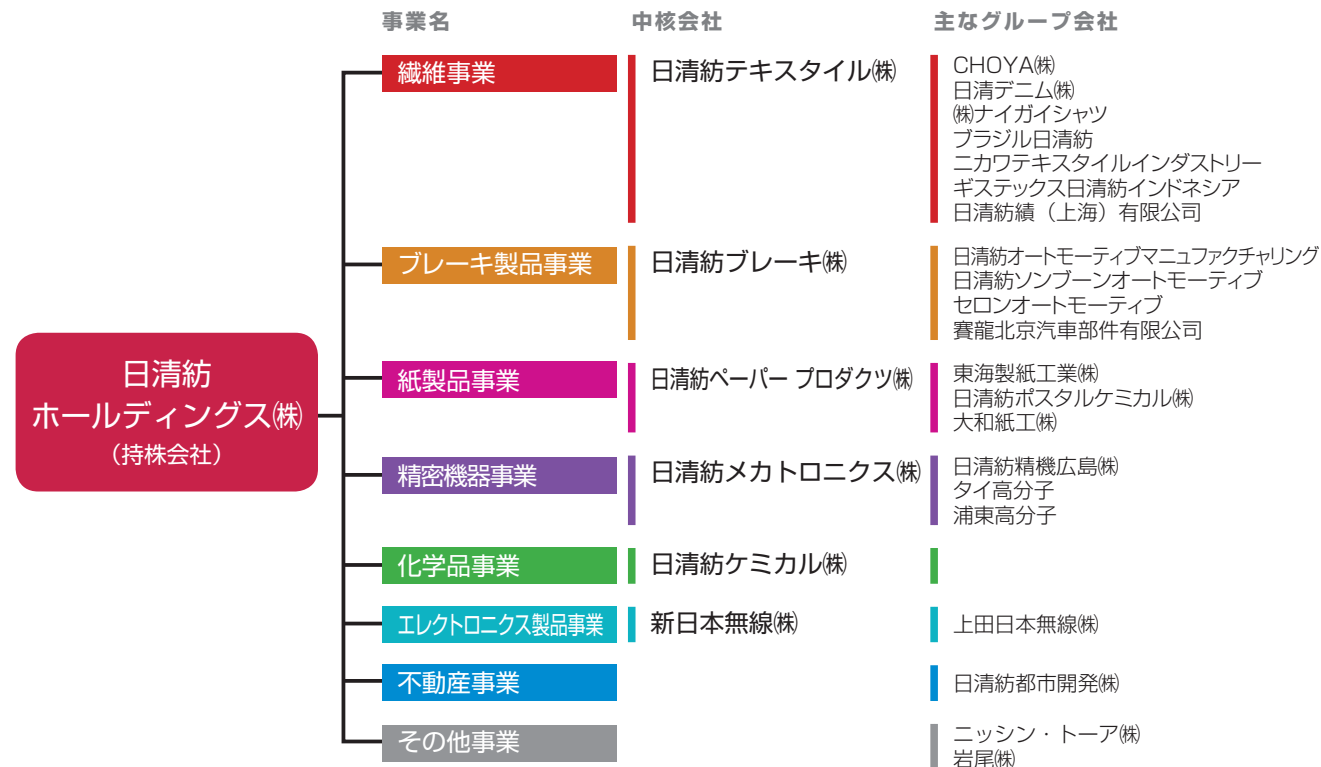
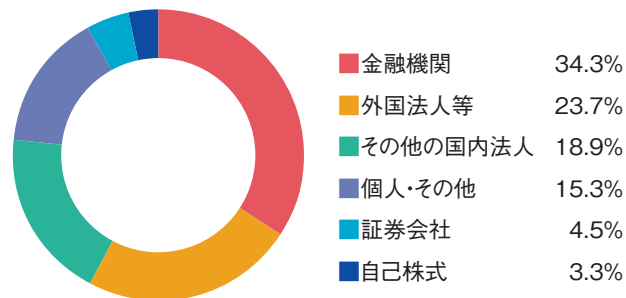
発行可能株式総数 371,755,000株
発行済株式総数 184,098,939株
株主数 13,781名

II 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富国生命保険相互会社	12,000	6.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,914	6.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,799	5.5
帝人株式会社	6,028	3.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託帝人口)	4,700	2.6
日本無線株式会社	3,370	1.9
JPモルガン証券株式会社	3,272	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,209	1.8
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	2,486	1.4
株式会社みずほコーポレート銀行	2,300	1.3

(注) 1.上記のほか、当社は、自己株式を5,989千株保有しております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

II 所有者別株式分布状況



Webサイトのご紹介



当社ホームページでは、当社のイメージキャラクターである佐倉絵麻さんを起用したスペシャルサイトをはじめ、IR情報も充実させ、豊富なインフォメーションを掲載しております。今後も株主・投資家の皆様へ向けて当社グループの情報を迅速に提供してまいりますので、どうぞご利用ください。

<http://www.nisshinbo.co.jp/>